

主催/NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー

広島ゆかりのアニメーション2026 『はだしのゲン』上映会

2026年11月7日(土)・8日(日)



生協ひろしま「被爆者支援及び
継承活動団体支援金」対象事業

11月の広島市平和文化月間の催しとして、アニメーション映画『はだしのゲン』の2作品の上映会を開催します。
「広島ゆかりのアニメーション」は、アニメーションが広島の都市文化としてこの地で育まれていくよう、被爆体験、平和
や人間愛をテーマにした作品、広島ゆかりの作品などを上映するものです。



©(有)ゲンプロダクション

11月7日(土) 11:00 / 14:30*

はだしのゲン

1983(昭和58)年 ゲンプロダクション 83分 カラー 35mm

監督/真崎 守 原作/中沢啓治

声の出演/宮崎一成、井上孝雄、島村佳江、甲田将樹

中沢啓治の漫画『はだしのゲン』を原作にしたアニメーション。
ゲンは原爆で父や姉、弟を失うが、母はその直後、女の子を産む。ゲンは妹のミルクのために懸命に働くが…。



©(有)ゲンプロダクション

11月8日(日) 11:00 / 14:30

はだしのゲン2

1986(昭和61)年 ゲンプロダクション 86分 カラー 35mm

監督/平田敏夫 原作/中沢啓治

声の出演/宮崎一成、島村佳江、甲田将樹、青山貴美

アニメーション『はだしのゲン』の続編。原爆投下から3年後の広島。ゲンは病弱な母を助けながら、仲間たちと力強く生きる。ゲンと母との絆、仲間たちとの友情に焦点を合わせて描く。

鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)・高校生250円、小・中学生無料 ※土曜日は高校生無料

*11月7日(土) 14:30~の回の上映終了後 トークイベント(約15分)

ゲスト/宮崎一成(声優)、松林泉(二胡奏者)

ゲストにゲン役の声優・宮崎一成氏、そして二胡奏者の松林泉氏がテーマ曲演奏をします。
戦後81年が経ち、体験の継承が難しくなっていくなか、アニメーションを通して戦争や原爆が人々に何をもたらしたのか伝える機会となることを願います。

発券・開場は各回45分前から行い、定員(100名)に達し次第締切となります。
上映開始30分後からの入場はお断りします。



広島市映像文化ライブラリー

〒732-0822 広島市南区松原町9-1 エールエールHIROSHIMA10階 TEL:082-298-0551 FAX:082-298-0552

交通案内:JR広島駅・広島電鉄広島駅・広島駅バス停から徒歩約5分 専用駐車場はありません

<https://hiroshima-eizoubunka.jp>

■開館時間 月曜日～金曜日 10時～21時 土曜日、日曜日、祝日、8月6日 10時～18時

■休館日 第2月曜日(祝日は開館)、12月29日～1月4日

